

もっと!

# つながる通信

第 5 号  
令和4年3月1日発行

発行：名寄市社会福祉協議会

名寄市西1条南12丁目  
総合福祉センター内

TEL：01654-3-9862/FAX：01654-3-9949

共催：名寄市町内会連合会

名寄市民生委員児童委員連絡協議会

回 覧

新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで同様の活動が行えない中においても、つながりを失うことなく、暮らしやすい地域をつくっていく一助となるよう様々な地域活動の情報を掲載した「つながる通信」を昨年11月から今年3月まで発行したところですが、今なおコロナ禍の影響が続き、様々な場面に影響を及ぼしており、そういった状況においても地域での支え合いを継続していくことができるよう「もっと!つながる通信」として、来年3月まで毎月発行します。

紙面は、昨年12月から町内会や民生委員児童委員のみなさんのご協力のもと行っている「こんにちはレター」「まごころマスク」に関する取り組みと、名寄市外で行われている活動の紹介になっておりますので、今後の地域での活動にお役立ていただければ幸いです。

## こんにちはレター・まごころマスク

最後の発行となる今回は、西地区民生委員児童委員協議会の帆鷺吉行さん、西町1区福祉部副部長の田中昭男さんにお話を伺いました。

帆鷺さんは西町1区を担当されており、65歳以上の独居高齢者宅、娘さんと同居される高齢者宅、緊急通報システムを利用する高齢夫婦宅合わせて28名に「こんにちはレター」と「まごころマスク」を毎月お届けしています。

西町1区町内会でも新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型の事業ができずにご苦労されたそうですが、民生委員との連携の上、戸別訪問やお弁当の配布、季節の行事に合わせてお赤飯やクリスマスケーキをお届けするなど様々な工夫を凝らしていらっしゃいました。

今回の配布日が節分だったこともあり、こんにちはレターには大豆の小袋が添えられており、帆鷺さんの心配りが見て取れました。2月のひとこと通信にも節分にあやかっただメッセージが添えられていましたのでご紹介します。



～2月のひとこと通信～ ※一部抜粋

拝啓:余寒の候、ご健勝のこととお喜び申し上げます。～

～節分にあやかり配布の大豆小袋入りでオミクロン株鬼を撃退して頂きコロナウイルス感染症の収束を願ひ西町1区町内会仲間と共に頑張っって乗り越えて参りましょ、ご健康をお祈り申し上げます。 敬具

こんにちはレターとまごころマスクを受け取った住民の方々からお話を聞くと、毎月お宅を訪れる帆鷺さんに対して「いつも声をかけてくれて強い味方です」「まめに回ってくださって感謝しています」とお話されていました。

レターやマスクに対しては「掲載されていた肉じゃが作ってみましたよ」「材料費がかからないので良いですね」「マスクは必要なのでありがたいです」といった声をいただきました。

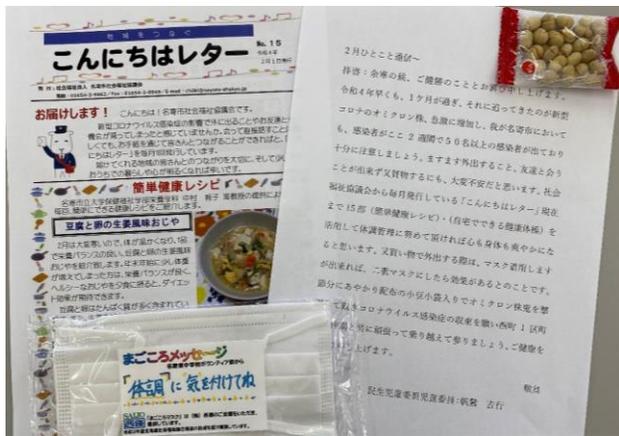
今回の訪問に同行させていただき印象に残ったのは、地域住民の方への声掛けでした。

帆鷺さんは自身の家に届いた3回目のワクチン接種に関する書類の写真をお宅の方に見せ、「これ届いたかい?」と聞き、「接種券が届くからなくさないようにね」と声掛けされていました。

これに関して帆鷺さんにお話を聞くと、手紙をなくして困ってしまう方もいるので、写真を見せてどの手紙か分かるようにして声掛けするように工夫しているとのことでした。

日頃から行っている訪問声掛け活動にも工夫をこらしており、民生委員としての活動の大切さ、住民とのつながりを絶やさない活動の大切さを感じる機会となりました。

今後も、民生委員、町内会と連携を取りながら見守りを継続し、コロナ禍においても安心して暮らし続けられるような地域を目指していきます。



## 上砂川町社会福祉協議会

名寄市のみなさんこんにちは！『なよろ社協チャンネル』をいつも楽しみに拝見しています。空知管内ほぼ中央にある上砂川町社会福祉協議会です。今回は私達の町の活動を紹介させていただきます。

### ★多世代の交流を目指して

上砂川町社協が中心となって実施している生活支援交流サロンで、参加者の方々から多世代交流の必要性について声が上がりました。今回紹介する「グリーン作戦」です。グリーン作戦は、ケアサポーター（ボランティア登録者）と中学生を交えたチームがゴミ拾いをしながら中学校から「かみすなわ炭鉱館」までの約3kmを歩き、ゴール後の炭鉱館では町民の方を講師に迎え、旧産炭地の歴史を学びました。

中学校に戻ってからは、昔の町内の写真を見てグループワークを行い、町の歴史について理解を深め、交流しました。

中学生にとっては生きた歴史を学ぶ機会となり、歴史を知ることで町の未来やこれからの人生を考えるきっかけとなりました。サポーターにとっては、自分たちの歩んできた歴史を次世代に伝えることが未来への希望となりました。中学校の教育目標が「自立と共生」であり、先生方にも積極的に協力していただけたことで実現できた活動でした。

グリーン作戦は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ぶりの開催でした。以前は昼食を一緒に食べ、参加人数制限もなく行っていましたが、今年度は規模を縮小し昼食会は行えませんでした。参加された皆さんがそれぞれ楽しまれていました。コロナ禍だからこそ、人と人との触れ合いの大切さや多世代交流の意義が強く実感できました。毎月実施していた交流サロンも令和3年度は半数しか開催できませんでしたが、その分1回1回の交流が活発なものとなり、話し合いの内容が濃いものにもなりました。



中学生とケアサポーターのゴミ拾いの様子



ケアサポーターが昔の写真を紹介している様子

### ★最後に

上砂川町は総人口（約2,700名）に占める65歳以上の方々の割合が50.9%と高く、総人口も名寄市の約10分の1です。新型コロナウイルス感染対策の他、社会的な課題も抱えていますが、様々な世代の人々が前向きに「出来る事を、出来る分だけ行動する！」をモットーにこれからも活動していきます。

今回ご紹介した活動以外にも、上砂川町社協のホームページからご覧いただけます。



「つながる通信」は名寄社協ホームページやSNSでも発信しています。他にも様々な情報を発信していますので、ぜひご登録ください！！

ホームページ

